

ふれあいぽけっと

題字 三水第一小学校1年

ながさきさら

HUREAI POKETTO

2015

3/31

No.108



「地域包括ケアシステム構築に向けた地域の動き」
「住民力が要 みんなが主役の地域づくりとは」
神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科
准教授 中村 美安子 氏

おらの父ちゃん認知症みたいなんだけど…

～地域福祉フォーラム寸劇より～

3月1日、「地域福祉フォーラム」が飯綱町民会館で開催されました。

当日は、高齢化がさらに進み、認知症高齢者や高齢者世帯が増える社会について、ボランティア連絡会員らが「認知症高齢者の増加」「地域の支え合いの推進」「介護予防」の3幕を寸劇で演じ、来場者に問題提起しました。

(詳しい内容は、次ページをご覧ください)

●●●主な記事●●●

- P2 地域福祉フォーラム
地区福祉推進委員会の愛称決定
- P3 さみずの郷から、こんにちは
平成26年度赤い羽根共同募
金実績
- P4 ボランティアセンター紹介
- P5 ボランティアコーナー
いきいきサロン全員集合
- P6 社協予定表
いづなの福祉事業所紹介
- P7 自然育児のススメ
- P8 まちがいさがしクイズ
新 ささらばさら(4コママンガ)
りんごのつぶやき

地域福祉フォーラム

ダイジェスト

国と自治体は、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年を目途に、地域の力を活用し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができる仕組み「地域包括ケアシステム」を構築します。

今回のフォーラムでは、地域の支え合いの仕組みづくりが欠かせない「地域包括ケアシステム」をわかりやすく伝えるため、寸劇と講演を行いました。劇では、ボランティア連絡会員らがユーモアを交



▲大きな制度改正を熱演で説明

飯綱町の65歳以上の割合（高齢化率）5年ごと推計

(単位：%)

2020年	40.2
2025年	42.7
2030年	44.3
2035年	45.1
2040年	46.4

【出所】国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』

えながらも、長野県北部神城断層地震で地域の結びつきにより被害を最小限に止めた白馬村のケースなどを例に紹介するなど真剣な表情で演じました。

続いて、神奈川県立保健福祉大学准教授の中村美安子氏が「住民力が要 みんなが主役の地域づくりとは」と題し講演しました。

中村氏は日本が直面している急速な少子高齢化を「人は急激な変化が苦手、まだ大丈夫」と思ってしまう「世の

中が急に変わったときは仕組みや意識が追いついていない」として、この状況に気づいた人から知恵を出していかなければならぬ、と来場者に訴えました。



そして、孤立死や消費者被害、虐待など地域が抱える様々な問題を、そこに暮らす住民が「気づき」「制度の谷間」にある問題を受け止め、「一人暮らしでも安心して暮らせるように」「地域をつくらなければならぬ」と説明しました。

参加者からは、「社会の変化がともよくわかった」「今後、私たち住民が担う役割は増えるが、支え合いが活発な飯綱町であれば可能だと思ふ」などの声を聞くことができました。

愛称が決定

「地域(地区)つながり隊」

社会福祉協議会では「地区福祉推進委員会」の活動をわかりやすく、また広く周知するため、平成26年12月20日より愛称募集をしたところ、全国から、36名称を応募していただきました。

遠くは北海道、秋田、愛知、神奈川の方などからも応募いただきました。

数多くの素晴らしい愛称を応募いただいた中から、標記の愛称に決定させていただきました。

地域(地区)のつながりを大切にしながら助け合いを進めていきたい(隊)という意味になります。

今後はこの愛称を活用しながら、小地域のつながりづくり、助け合い活動を推進してまいります。

応募いただきました方には、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

『さみずの郷から、こんにちは!!』

向山の上の方、小さなデイサービスセンター『さみずの郷』です。

徐々に暖かくなり、足を外に運ぶにはちょうどいい季節となりました。

現在、お風呂の待ち時間を利用して、フェルトを使った作品作りをしています。今回は、ご利用者様と一緒に『春の景色』を描いてみました。作品は建物内の廊下に展示してあり、美術館と化しています。ぜひ、さみずの郷に作品を見に来て。

※さみずの郷で、大きなお風呂に入ったり、趣味の時間を過ごしたり、仲間とおしゃべりをするなど一緒に楽しい時間を過ごしてみませんか？

毎月1、2、3日はさみずの郷の見学会へ。1日体験も可能です。



▲春の景色「ホーホケキョ」

「いちっ・にっ・さんは、さみずの郷へ♪」
どうぞ、お気軽にお立ち寄り下さい。
また、体験会の詳細について、送迎のご希望等ございましたら、左記までご連絡ください。

お問い合わせ
さみずの郷
電話：253・8882
(担当：小林)



赤い羽根共同募金 「じぶんの町を良くするしくみ」

平成26年度実績
総計 3,070,729 円

赤い羽根共同募金は、じぶんたちの町の福祉「ふだんの・くらしの・しあわせ」のために使われています。

集まった募金の約70%は、募金をいただいた地域で使われ、残りは、市区町村を越えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われています。また、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するためにも使われています。

◆詳しくは、ホームページをご覧ください↓

赤い羽根共同募金 <http://hanett.akaihane.or.jp/>
(単位：円)

地区名	金額	地区名	金額
平出	143,000	牟礼	156,000
番匠	32,000	小玉	83,000
福井団地	509,983	西黒川	94,375
福井	56,000	東黒川	104,000
四ツ屋	30,000	袖之山	58,011
坂上	96,000	地藏久保	15,000
栄町	96,000	坂口	13,000

地区名	金額	地区名	金額
高坂	47,500	御所之入	46,000
夏川	37,000	若宮	17,000
野村上	71,500	堀越	7,000
北川	27,000	日向	3,000
上村	20,000	谷	53,200
東高原	21,900	川西	90,700
横手	26,000	川北西部	32,000
中宿	41,000	川北東部	47,000
古町	60,000	原一	30,000
普光寺西部	80,800	原二	40,500
普光寺中部	77,000	原三	48,000
普光寺東部	121,500	川谷	23,200
深沢	35,000	上赤塩	71,000
寺村	43,000	毛野	89,500
町	46,000	下赤塩	45,000
中峯	27,010	東柏原	38,150
田中	32,500	奈良本	36,000
中村	41,400	扇平	11,000

いただいた募金は、全額を長野県共同募金会に送金しました。ご協力ありがとうございました。

ボランティア 市民活動コーナー

平成27年春秋の古紙回収のお知らせ

回収日
春 5月8日(金)
秋 10月9日(金)
※いずれも午前8時30分まで
(時間厳守)

日頃は、古紙のリサイクルを考える会にご協力いただき、ありがとうございます。26年度は大勢の皆様にご協力いただき、町内福祉事業所サラダスクウェア分も合わせて18,450kg集まりました。

また、ふれあい広場での牛乳パック、ペーパータオル、トイレットペーパーとの交換は大変好評いただきました。27年度も年2回の古紙回収を行いますので、ご協力をお願いします。

回収できないもの

広告紙、牛乳パック、包装紙、カレンダー、カタログ、封筒、コピー用紙、はがき、アルミ付き紙パック等

回収できないもの

新聞紙、ダンボール、週刊誌、マンガ本 ※こちらは町の古紙類回収日にお出しく下さい。

古紙を指定された場所にお持ちください。

《西地区》

袖之山…公民館玄関前
上村…公民館玄関前
古町…ゴミステーション
野村上…公民館玄関前
高坂…ゴミステーション
中宿…倉庫前
横手…ゴミステーション

夏川…コミュニティセンター
地藏久保…公民館玄関前
東高原…ゲートボール場、資源置き場、天狗の館
北川…ゲートボール場横収集場
坂口…バス停

《東地区》

平出…集落センター
福井…集落センター
坂上…公民館玄関前
東黒川…倉庫前
四ツ屋…資源置き場
栄町…コミュニティセンター
資源置き場
番匠…公民館玄関前
福井団地…コミュニティセンター
小玉…公民館玄関前
牟礼…公民館玄関前
西黒川…コミュニティセンター

回収日には、旧牟礼中央保育園にて8時30分～16時00分まで作業を行なっておりますので、直接お持ちいただいても結構です。

お問合せ

古紙のリサイクルを考える会
電話253-7552(荒井宅)
253-3064(小林宅)

いきいきサロンで はつらつ人生!

3月11日、むれ温泉天狗の館を会場に「いきいきサロン全員集合」が開催されました。

同事業は、安心して暮らせる地域づくりや参加者の健康増進、生きがいづくりなどに効果がある「いきいきサロン」の普及と活性化を目的として毎年開催しています。今回のプログラムは、健康増進に力を入れるサロンの増加を受けて、「関節痛予防のヨガ講座」と「介護保険制度の改正に関する講話」を実施しました。

当日は、互いのサロンの取り組みについて情報交換をしたり、講座等の内容をメモする参加者の姿が見受けられました。



▲大事な体をメンテナンス!
ヨガを体験する参加者

飯綱町社会福祉協議会 予定【平成27年4月】

月	日	曜日	内容	月	日	曜日	内容
4	16	木	わらび会	4	26	日	第9回 飯綱町一斉清掃
	24	金	街中サロン「楽しく」				



ニチケアセンターいっしょな日記

「ずいぶん日が長くなったねえ」「この間まで帰るときは真っ暗だったのにまだこんなに明るいよ」と送迎車輛に乗り込むご利用者様たちから、こんな会話が多く聞かれるようになりました。日差しも強くなり春がすぐそこまでやってきているのを感じるこの頃です。

さて、春と言ったら皆さんは何を思い浮かべますか？卒業、入学、ふきのとう、菜の花、桜……。そして、3月14日に開通した北陸新幹線。センターでは、ご利用者様と新幹線の話題、旅行の話題、ご当地名産の話題と話が盛り上がっていました。「昔は蒸気機関車で何時間もかけての移動だったのが大変だったんだよ」「夢を、夢で終わらせないで金沢の兼六園に行つてカニ寿司を食べたい」「やっぱり富山といえば鱒寿司だよ。私は鱒

寿司が食べたいな」など、白えびバーガー、のどぐるなど食べ物の話題から、黒部ダム、白川郷、富山のマスコットのきときと君VS金沢のマスコットのひやくまんさんの話題まで話は尽きず……。皆様、本当に色々なことを知っていてびっくりです。しばらくの間、東京◆金沢間約425kmを巡る夢の旅を楽しんでいただきます。

ニチケアセンターいっしょなも、グランクラスのようにゆったりと落ち着いた雰囲気です。過ごしていただけるような場所でありたい、と思っております。



NPO法人 SUN ありがとう

おかげやまで・・・今年、SUNは10周年を迎えます。当時、SUNを立ち上げた時、ご利用者様と職員合わせて数名しかいなかったのですが、今では数えきれないほどの大所帯。あつちの作業所こつちの作業所でワイワイガヤガヤとにぎやかに働いています。

小学生だったご利用者様が今では高校生！月日が経つのは早いと感じざるを得ませんが、一日一日を大切に、前を向いて過ごすことができたからこそ「10年」を楽しめたと思えます。

記念すべき10周年を迎えられるのは、いつも笑顔のご利用者様がいてくれたから。地域の方々が温かく見守ってくださっているからだと心から感謝しています。ありがとうございます。

この感謝の気持ちを皆様に伝えたいと思います。今年、SUNでは所々でイベントを開きます。落語会やコンサートなど企画しますので是非ご参加ください。これからも笑顔いっぱいSUNをよろしく願っています！

お問合せ先 NPO法人 SUN
電話：253-0133
FAX：253-0166

《自然育児》のススメ

〜家の中で1手仕事〜

今回は子どもの室内での過ごし方、特に「暇なとき」何をするかです。子ども「何もすることがない」と言われた時、我が家では、手仕事やおやつ作りをしてみました。

始めから子どもだけで出来ることではないので、子どもの「やりたい気持ち」をうまくいっしょ、普段から使うような材料や道具を用意しておき、時間や気持ちに余裕を持って、まずは一緒に作っていました。

《刺しゅう》子どもが小さい時は、毛糸針に細い毛糸を通して、目の粗い布へ刺していました。小さい刺繍枠を購入し、クロスステッチの布や刺し子の糸を使うこともありました。端切れや残りの糸で充分だと思えます。集中して根気よく刺していました。できあがりをおまけのポスターに仕上げたり、おまけのポケットにしてみました・・・。

《指編み・鍔針編み》これも根気よくやっています。鎖編みで自分の「あやとの」を作ったり、大作はマフラーになりました。

《紋切りの》紙の型抜き切ります。和紙で作ると、障子の破れ目をふさぐ花型や雪型ができて一石二鳥です。最近子ども用の楽しい本が出ています。

《折の紙》作って遊べる優れもの。新聞紙でダイナミックに作ったり、綺麗な包装紙や和紙で作って飾ったり。これも専門書や幾何学的な本が出版されていて、小さな子どもから大人まで遊べます。

《ぬり絵・写し絵》始めはクレヨンや太い色鉛筆を使用しました。絵筆・絵の具も良いですね。自由に書くことも良いのですが「枠」や「線」を意識した塗りつぶしも良いようです。この続きは又、次回。

by 唯〇母

3月12日

被災地と心をつなぐ講演とコンサートが開催されました

昨年引き続き、2度目の来町となった「南三陸町復興応援大使」の外立とし江さんは、義援金を届けた町立南三陸病院建設の進捗状況や日頃から災害に備えることの大切さについて、また、「希望の牧場ふくしま」代表の吉沢正巳さんは、被災した牛300頭を飼い続ける意味と覚悟について、映像を交えながら語ってくれました。

吉沢さんは、多くの牛が繋がれて死んだり、殺処分される中、放射能事故の影響を受けた生きた証拠の牛を飼い続けている。「牛に白い斑点が出たり、100人以上の子どもの甲状腺に異常が起るなど、因果関係はないと言われているが果たしてどうなのか」来場者に問いかけました。来場者は原発のあり方について、考える機会となりました。

▼ロビーでの吉沢さん



第106回 まちがいさがしクイズ解答

答え

「空を飛ぶ鳥」
「右下の人の向き」
「病院の天窓」

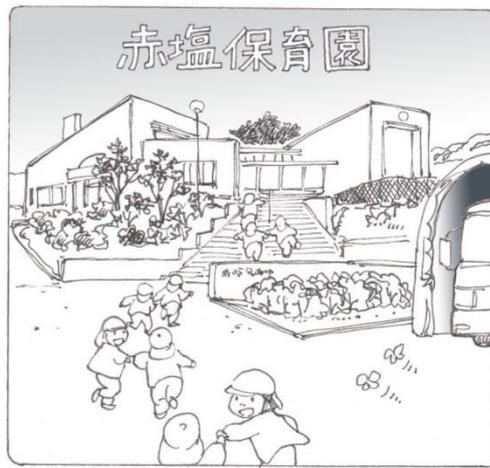
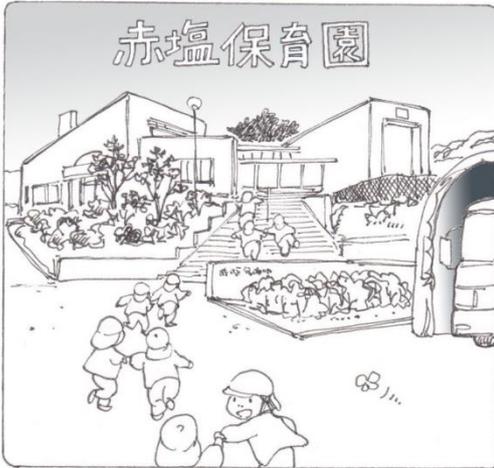
仲俣千糸子様 / 白石 仁子様 / 米澤 説好様/
小林 啓子様 / 飯田 伸江様

上記の皆様が当選されました。おめでとうございます。

※景品の配布は当選から2ヶ月ほどかかります。

Q まちがいさがしクイズ

—第107回— 今月も「まちがいさがしクイズ」に挑戦
正解者の中から5名様に素敵な景品をプレゼント!



※第106回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。

ハガキ表
52 389-1201
飯綱町芋川181
飯綱町社会福祉協議会
「まちがいさがしクイズ」

ハガキ裏
・こたえ
・じゅうしょ
・なまえ
・でんわばんごう
・今月号の感想など

左右の絵を見比べて3つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領で記入の上、ご応募ください。社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による応募も受け付けております。(町内在住の方に限る) 締切りは、4月15日です。
【消印有効】



地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございます。

ブルーベル様
50,000円
仲保 孝志様
お米100kg

寄付

新 せいはいぼけと 60 しばやしうみ



りんごのつぶやき

思い起こせば十数年前、新入社員研修で「組織の仕事の基本は『報・連・相(ほうれんそう)』だ」と何度も聞かされた。「報・連・相」とは報告・連絡・相談という意味で、社員同士での報告、連絡、相談が大切、要するに社内でのコミュニケーションを十分に取れ、との意味だ。最初聞いた時は語呂の良い言葉くらいにしか思っていなかったが、どうも怪しい使い方をする人が少なからずいることが判ってきた。ちょっとした報告ミスがあった時、上司から「仕事の基本は報・連・相だ、お前は一体何を学んできたのか」と嫌味を言われ、「この人への報告は気を付けなければ」と考えるようになった。自分の考えを訊かれて答えたら、「そんな考えだからお前はダメなんだ!」などと言われ「この人には個人的感想など言わない方が良い」と思った。こういう事が何度も繰り返されるとお互い当たり障りのないことしか言わなくなる。そういう組織はいずれ「風通しが悪い」などと言われ、ガタガタになるだろう。

反対に、上手くいかなかった件があっても、立ち話程度の会話ですまねぎらってもらい、自分の感想や考えを全部聴いてもらった上で、何がまずかったのか、今後どうすべきか、一緒に考えてもらった時は仕事がやりやすかった。

一つ覚えのように「報・連・相」を唱えるだけ、あるいは嫌味や罵声や人格攻撃を伴う「報・連・相」は本来の「報・連・相」ではない。やはり誰もが安心して意見や疑問を話せる雰囲気づくりが、健全な「報・連・相」が育つ土壌になると思う。そんな組織で新入社員を迎えたい。